

クローズアップ

新病院の開院2年延期 大阪



府(手前)と交渉する市民の会の代表ら=21日、府庁

病院再編計画は地域の小児・周産期医療、虐待児や発達障害などの福祉的機能を担ってきた住吉市民病院を2018年3月末に廃止し、府立急性期・総合医療センターの敷地内に建設する府市共同住吉母子医療センターと南港病院に再編するものです。市民病院の198床のうち97床を府

大阪市立住吉市民病院(住之江区)廃止に伴う病院再編計画をめぐり、跡地に市が誘致する医療法人三宝会「南港病院」(住之江区)の設計上の問題で開院が2年延期されることが明らかになり、市民のあいだに医療の空白・後退への懸念が改めて強まっています。
(大阪府・小浜明代)

住吉市民病院の廃止・再編

大臣が同意しました。問題報告せず
市民病院跡地での新病院の建設をめぐる問題は今年3月に南港病院が設計会社と契約。5月に建築基準法の日影規制により予定していた北側には建設できないことが判明しまし

す。吉村洋文市長はそれによって見込まれる収支不足11億5000万円を支援することを検討しています。こうした重大な問題が市民に明らかになったのは12月に入ってからです。府と市はその間に住民説明会を開いていきましたが報告せず、福祉的機能がどう確保されるのかいまだに検討中としています。
日本共産党の尾上康雄市議は6日の市議会で「住民や医師会など地元の理解を得られていない計画は当初から無理があり、公費を支出するなら公立として

医療・福祉どうなる
住民ら府に説明会要求
「住吉市民病院を充実させる市民の会」は21日、日本共産党の辰日孝太郎参院議員、宮原威、石川多枝両府議、尾上市議、わたなべ結衆院比例・大阪3区候補とともに府と交渉。「再編計画そのものが崩れたと認識せざるを得ない」(辰日氏)と指摘し、府立急性期・総合医療センターと南港病院の代表が参加する住民説明会の開催を強く要請しました。

市共同の新病院、100床を南港病院に移し、南港病院は現在の109床とあわせた209床の新病院を市民病院跡地に開院する計画で、2月に厚生労働省への申請を強行しました。